

「道徳のまち笠松」のつどい

柳田邦男さん 笠松で語る!

『大変な時代にこそ“こころ”を — 親・地域とこどもの発達 —』

2月28日、笠松中央公民館で“「道徳のまち笠松」のつどい”が開催され、約500人の皆さんが集まりました。町長のあいさつ、「道徳のまち笠松」の趣旨説明に引き続き、ノンフィクション作家の柳田邦男さんに講演をいただきました。講演の前半では、豊富な日本各地での体験や情報をもとに、町民のコミュニケーションが風土づくりには大切なこととお話しいただきました。後半には、人としての心を育むことについて語られ、感動の原体験を大切にすることや絵本の読み聞かせによる心の育みについてスライドを使い、わかりやすくお話しいただきました。



柳田邦男さんの講演 絵本でこころを育む

会場の大ホールでは立ち席でお聞きされた方や、3階ロビーでテレビモニター画像を通して参観された方もありました。にもかかわらず、共感し終始熱心に講演を聞いていただきました。最後は、「道徳のまち笠松」推進会議の道家嗣典会長が、「道徳のまち笠松」のアピールを読み上げ、参加者全員の拍手をもって採択されました。同席された柳田さんからも激励の拍手をいただき、閉会しました。

この“つどい”を機に、「道徳のまち笠松」への関心をさらに高め、アピールの趣旨を毎日の生活や仕事に生かせるよう取り組みを進めてまいります。



「道徳のまち笠松」アピールを読み上げる道家会長

道徳のまち笠松 アピール

私たちの社会は今たいへんな時代を迎え、これまで経験したことのないさまざまな課題に直面しています。こうした状況に臆することなく、むしろこうした状況だからこそ、私たちの町「笠松」に引き継がれてきた道徳心を大切に、これまで以上に生きがいと誇りのもてる心温まる町にしなければなりません。

こうしたまちづくりを進めるには、笠松町民憲章に示されている「共に生きる」精神と「互いに尊重し合う」精神を、町民一人ひとりが大切に、みんなで力を出し合ってまちづくりができるよう、町民の皆さんに次のことを呼びかけます。

1. 人と人との心のつながりを大切にしましょう
1. 地域社会のために、自分にできることをしましょう
1. 人として互いに尊重し合いましょう

平成21年2月28日

平成20年度「道徳のまち笠松」のつどい